

## 日本共産党議員団、江南市長に 2010年度予算要望書を提出

(12月22日)

要望書は、1.緊急雇用・中小零細企業  
対策 2.福祉 3.教育 4.こみ・地球  
温暖化 5.まちづくり 6.防災 7.  
住民参加の行政という7つのテーマ82項目  
に市民要望や、行政の課題についてまとめ  
たものです。詳細は日本共産党江南市議団  
HPをご覧ください。

## 12月議会一般質問



森 ケイ子

江南団地

TEL 57-2753

## 老人クラブの会長さんも要望 江南厚生病院へ定期交通を

江南厚生病院まで定期交通を走らせてほしいと、江南団地や松竹住宅など西部地域の人たちが、7月に改めて2310人の署名を添えて市長に要望書を提出し、11月19日には宮田地区の6老人クラブ会長さん連名の署名も提出されました。

しかしこの間、何も進んでいません。透析で週3日、江南厚生病院へ通院しているという江南団地の方の手紙も紹介し、「この切実な声にどうこたえるか。」と質しましたが、「他の地域とのバランスも考えなければならぬ…」などと、市当局は従来からの答弁を繰り返すのみで、市民要望にこたえようとしない姿勢はありません。

一宮市では、循環バスがアコース市内を走り喜ばれています。コースを決めたり、利用者を増やすことは地域住民が主体となった地域協議会で行うこととし、目標の利用者を切ったら廃止することまで明記して住民の力に依拠して進めています。

まず要望の強いところから定期便の試行運転を始めるよう主張しました。

## ・所得税法56条の廃止 ・年金のマイナス物価スライド中止 を求める2本の請願を不採択

市民の暮らしが大変な中、切実な願いから出された請願なのに...。下の表はこれに対する各議員の態度です。

会派	議員名	態度
共産	東 よしき	○
共産	森 ケイ子	○
公明	野下 達哉	●
公明	古田みちよ	●
公明	鈴木 貢	●
江政	今井 敦六	●
政新	稲山 明敏	●
政新	伊神 克寿	●
政新	高田 健孝	●
社民	山 登志浩	○
江政	中西 保夫	●
江政	牧野 圭佑	●
江政	尾関 健治	●
江政	沢田 和延	●
政新	高田 良弘	●
政新	古田富士夫	●
政新	宮地 友治	●
政新	古池 勝英	●
江政	河合 正猛	●
江政	小林 弘子	●
江政	岩田 一洋	●
政新	福田 三千男	●
政新	大脇 澄夫	●

○は請願に賛成、●は請願に反対、木本恵造議員は議長のため、採決に加わっていません。

また、公共交通のない地域をどうするか。当面的まいカーで行くとしても全体の市民の足の確保について、検討を始めなければならぬことも主張しました。

## スケボーパークの設置を

6月議会でもスケボーを楽しむ若者のためにスケートパークの設置を提案しましたが、11月に市長あてに389名の要望書が提出されました。

今回署名活動をしたのは、10代の若者、高校生たち。ぜひこの要望にこたえる市政であってほしいと主張しました。

ほかに保育園給食でいまだに脱脂粉乳が飲用として使用されていることにに対し、今年度から脱脂粉乳をやめ、牛乳に切り替えること、またご飯給食も保育園で炊いて食べられるよう主張しました。

学校内は教育施設であり、先生の健康管理上からも全面禁煙にすべきではないかと提案しました。



東 よしき

大間町

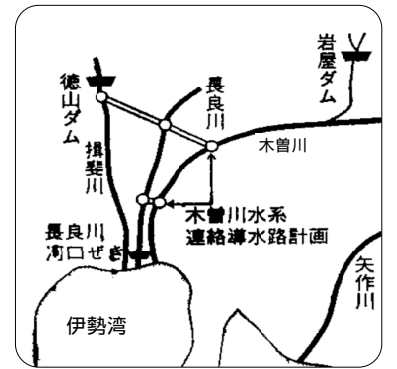
TEL 54-7977

## 「ムダにムダを重ねる」 徳山ダムからの導水路計画

新政権の国土交通大臣は全国48の国直轄ダム事業について一時凍結を表明しました。この中には徳山ダムから水を引く木曾川水系導水路計画も含まれます。これを受けて県知事と木曾川沿線の首長から「凍結」に反対する声が上がっています。

しかし、実際の水利用のアテもないのに、将来は水需要が伸びるだろうと過大予測して長良川河口堰と徳山ダムが造られました。長良川河口堰の運用開始から14年が経過するものの開発水量の1割強しか使われていません。その上に浜名湖の2倍の貯水容量をもつ日本最大の徳山ダムです。

この大量の「使われない水」「売れない



揖斐川、長良川、木曾川を結ぶ全長約4.3km、直径4mのパイプライン。事業費約900億円。

水」への批判をかわすために、導水路計画が作られました。「濁水対策」を強調しますが「百年に一度」といわれる平成16年の大濁水の時でも河口堰の水さえ使わずに済んでいます。

このような過大予測にもとづいたムダにムダを重ねる事業のために税金が投入されれば、経済危機ときびしい財政状況にますます拍車をかけることとなります。

市としても導水路計画は中止の姿勢を示すべきです。

## 市民要望の データベース化を

毎年、年度始めに区長さんなどから様々な地域の要望が出されます。その中で道路の舗装や側溝などの達成状況は平均で約50%をこえるのが現状です。この中には段差の解消など安全な道路への改良や歩道の整備につながるものも含まれます。今年度要望に答えられなかった箇所が蓄積されて次年度の整備計画に反映されるかといえぱそうはなっていません。

市民から寄せられる要望を整理して「人によさしい道づくり」を計画的に進めて行くため「データベース化」を提案しました。

## 住宅リフォーム助成制度 創設を要望

住宅のリフォームを地元業者へ注文した住民の方に工事費の一部を市が助成し、地元業者の活性化、経済対策につなげようという行われている制度です。

こうした制度を創設するよう要求しました。調査研究していくとの答弁でした。



政治革新の道しるべ  
真実つたえ希望はこぼ

しん 赤旗  
日刊 月2,900円  
日曜版 月800円

『赤旗』のお申し込み、また、市政や生活のご相談は、日本共産党江南市議会議員へ